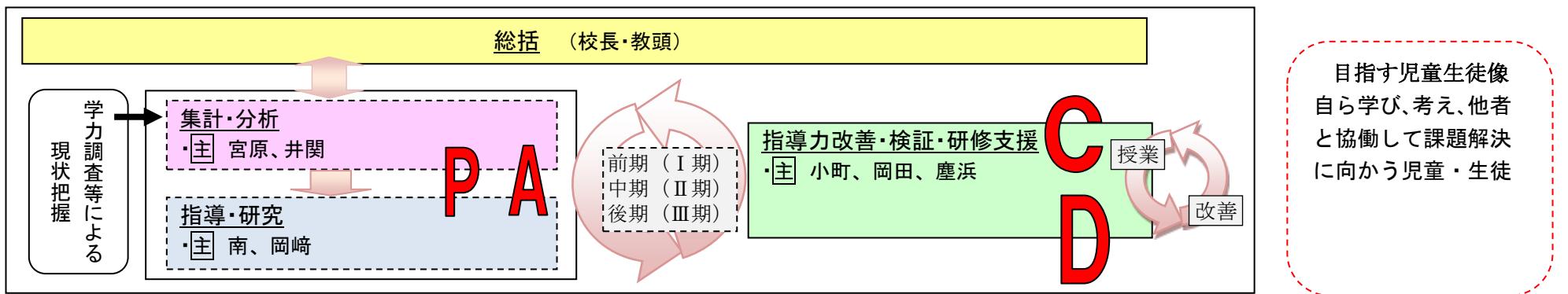


# 令和7年度 珠洲市立大谷小中学校 学力向上ロードマップ

研究主題

説得力UP！根拠を明らかにし、自分の考え方や思いを筋道立てて表現できる児童生徒



## 前年度後期（Ⅲ期）プランの検証⇒要因分析

月	行事等	1 総括	2 集計・分析	3 指導・研究	4 指導力改善	
		校長・教頭	宮原、井関	南、岡崎	小町、岡田、塵浜	
4	県基礎学力調査実施 全国学力調査実施	年間のゴールの姿 根拠を明らかにし、自分の考え方や思いを筋道立てて表現できる児童生徒	現状と課題 ○自分の考え方を端的に分かりやすく説明することができるようになってきた。 ▲自分の考え方の根拠が乏しく、説得力に欠ける。 ↓ 児童生徒の考え方と根拠を結びつけるための問い合わせや手立てが足りていない。	研究推進委員会 ・年間のゴールの姿の設定 校内研修会 ・研究の方向性の共通理解 ・具体的取組の確認	・個で考える（自力解決）時間を十分に設定する。 ・三角ロジックを活用する。 「聞き方名人」の指標を5までクリアしている。	児童生徒アンケート 教員アンケート ノート検証
5	学力向上推進研修			校内研修会 ・指導案の形式確認 ・学力調査の分析	・個で考える（自力解決）時間を十分に設定する。 ・三角ロジックを活用する。 「聞き方名人」の指標を5までクリアしている。 ・小町教諭研究授業（14日）	ノート検証 参観シート（14日） 検証問題
6				校内研修会 ・取組の確認	・個で考える（自力解決）時間を十分に設定する。 ・三角ロジックを活用する。 「聞き方名人」の指標を5までクリアしている。 ・宮原教諭研究授業（18日）	ノート検証 参観シート（18日）
7		年間のゴールの姿 根拠を明らかにし、自分の考え方や思いを筋道立てて表現できる児童生徒	採点集計・分析 ・自校誤答分析との比較（7/31） ・経年比較（8/4） ・クロス集計等（8/10） 課題発見・原因究明	校内研修会 ・I期の振り返り	・個で考える（自力解決）時間を十分に設定する。 ・三角ロジックを活用する。 「聞き方名人」の指標を5までクリアしている。	児童生徒アンケート 教員アンケート 検証問題
8				研究推進委員会 ・年間のゴールの姿、取組の見直し ・II期プランの提案、共通理解		
9				校内研修会 ・取組の確認	・授業の具体的な取組 ・基盤の具体的な取組	ノート検証
10	学力向上フォーラム			校内研修会 ・取組の確認	・授業の具体的な取組 ・基盤の具体的な取組 ・井関教諭研究授業（19日）	ノート検証 児童生徒・教員アンケート 参観シート（19日） 検証問題
11		年間のゴールの姿 根拠を明らかにし、自分の考え方や思いを筋道立てて表現できる児童生徒	採点集計・分析 ・自校誤答分析との比較（12/26） ・経年比較（12/27） ・クロス集計等（1/6） ・指標問題分析（1/7） 課題発見・原因究明	校内研修会 ・取組の確認	・授業の具体的な取組 ・基盤の具体的な取組 ・南教諭研究授業（19日）	ノート検証 参観シート（19日） 互見授業月間
12	評価問題実施			校内研修会 ・II期の振り返り 研究推進委員会 ・年間のゴールの姿、取組の見直し		児童生徒・教員アンケート 検証問題
1				校内研修会 ・III期プランの提案、共通理解	・授業の具体的な取組 ・基盤の具体的な取組	ノート検証
2	学力向上推進研修			校内研修会 ・取組の確認	・授業の具体的な取組 ・基盤の具体的な取組 ・岡田教諭研究授業（10日）	ノート検証 参観シート（10日）
3		次年度 年間のゴールの姿	成果と課題の分析 成果の原因の特定 課題の原因の特定 次年度数値目標	校内研修会 ・III期取組、今年度の取組の振り返り 研究推進委員会 ・次年度の方向性について	学校研究総括 成果と課題の共有	児童生徒アンケート 教員アンケート 検証問題 ノート検証